

令和元年度

小・中学生フォーラム in 牛込第二中学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

7月5日（金）、牛込第二中学校（喜久井町20、校長：久保文人）の3年A組28名、B組27名が、「『新宿区』を世界に発信！」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、生徒たちは、事前のアンケート結果を踏まえて新宿区の自慢できるところ・アピールしたいところを考え、班ごとに話し合いながら「新宿区を世界へアピールするためのキャッチフレーズ」を作り、発表しました。「国際色豊か」「緑が多くて環境が良い」「新しいものと歴史や伝統が共存している」などのキーワードをもとに、語呂合わせなど、工夫を凝らしたキャッチフレーズを生み出していました。区長からは、「キャッチフレーズは、覚えてもらうことと内容を伝えることのバランスが大事だが、よく考えられていた。アピールしたいこととして挙がっていた『街がきれいであること』などは、住んでいる私たちの努力が必要なことでもある」と話がありました。

その後、生徒から区長への質問コーナーがあり、フォーラムで自分たちも考えた「自慢したいこと」「今後どんなまちになって欲しいか」などについて聞いていました。

生徒たちは、短い時間ながらも、班で活発にディスカッションを行っていました。今後、新宿のまちがこうなってほしい、自分たちはこうしていきたい、という気持ちを感じられる有意義なフォーラムとなりました。

